

風水害対策タイムラインを作成し、風水害に備えましょう！

近年、台風や大雨等の風水害が多発しており、これに起因する危険物施設の事故も発生しております。特に、河川氾濫による危険物の流出事故は、被害が広範囲に拡大し社会的にも大きな影響を及ぼすおそれがあります。

消防庁から示された「危険物施設の風水害対策ガイドライン」を参照（下の参考情報をご覧ください。）のうえ、各事業所において風水害対策タイムラインを作成し、風水害対策を行いましょう。



作成のポイント

- ① せんだいくらしのマップで、施設がある地域の災害リスクを確認します。
<https://www2.wagmap.jp/sendacity/Portal>
- ② 平時からの備え（事前対策）を明確にします。
- ③ 風水害の危険性が高まってきた場合の応急対策の内容や、警戒レベルに応じた行動内容を検討し、結果をタイムラインに反映させます。（裏面の風水害対策タイムラインの例を参照ください）



風水害対策タイムラインを作成した後は？

- ① 予防規程や社内規定、マニュアル等に添付してください。
- ② 所内において風水害を想定した訓練を行い、作成したタイムラインとの整合性を確認します。
- ③ 想定される風水害リスクと危険物施設の実態を考慮し、定期的にタイムラインの見直しを行ってください。

参考情報

消防庁ホームページ

危険物施設の風水害対策ガイドラインのほか、形態別のポイント、チェックリストの例等を掲載しています。（令和3年3月30日付消防災第41号・消防危第49号）

https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210330_bousai_41-kiho_49.pdf



仙台市ホームページ

風水害対策タイムラインの作成例を掲載しています。

<https://www.city.sendai.jp/kikenbutsu/jigyosha/taisaku/bosai/kikenbutsu/husuigai.html>



社の都防災メール〔登録が必要です〕

災害に関する情報を、あらかじめ登録した方にメールでお知らせします。

<https://sendacity.bosai.info/sendacity/bosaimail/index.html>



お問い合わせ先

仙台市消防局 予防部 危険物保安課 tel.022-234-1111

風水害対策タイムライン（危険物施設の例）

平時からの備え（事前対策）

- 災害リスクの確認
 ハザードマップで浸水想定区域・土砂災害警戒区域等の範囲を確認する
 - ・ 該当区域（浸水・土砂）
 - ・ 浸水想定区域の場合 浸水高 〇m
 - ・ 土砂災害警戒区域等の場合（警戒区域・特別警戒区域）
 - ・ 避難先 〇〇小・中・高等学校、事務所内の安全な場所
- 資機材等の準備
 防災資機材の確認、外壁・屋根の破損箇所の修繕
- 訓練の実施
 応急措置に必要な時間を把握する

ポイント

ハザードマップで確認することが大切です



風水害の危険性が高まってきた場合の応急対策

警戒レベル		行動内容
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める <ul style="list-style-type: none"> □ 防災情報の注視 □ 防災資機材の準備 □ 災害対応の手順と役割の確認
2	気象状況悪化	応急措置を実施し、避難行動を確認 <ul style="list-style-type: none"> □ 操業の休止・操業時間変更の検討・準備 □ 従業員等の避難準備（施設内、避難所等の安全な場所の確認） □ 防災資機材を使用した応急措置（水害・土砂災害対策） <ul style="list-style-type: none"> □ 閉鎖可能な配管弁の閉鎖 □ オイル缶等の容器流出の防止措置 □ 土のう等による室内への浸水・土砂流入防止措置（風害対策） <ul style="list-style-type: none"> □ 屋外の設備・物品の撤収 □ 屋外設備の転倒防止措置 □ シャッターや扉の閉鎖 □ ガラス窓の飛散防止措置
3	災害のおそれあり 「高齢者等避難」の発令	危険な場所からの自主的な避難 <ul style="list-style-type: none"> □ 応急措置の完了状況の確認 □ 操業の休止
4	災害のおそれ高い 「避難指示」の発令	危険な場所から全員避難 <ul style="list-style-type: none"> □ 全従業員の避難完了 □ 安全な場所で待機し、情報収集の継続
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ <ul style="list-style-type: none"> □ 安全な場所で待機し、情報収集の継続



ポイント

応急措置は早めに行いましょう



天候回復後の点検・復旧

- 施設を点検し、被害状況を確認
- 必要な補修を行い、安全が確認できた後に再稼働

ポイント

停電復旧時の通電火災、漏電に注意しましょう